

## タンパク質など運ぶ 繊維で「分子レール」

タンパク質などの分子を直接つけて特定方向に運搬できる「分子レール」を極細の繊維で作ることに、京都大学研究科の浜地格教授(池田将助教、堺大の田丸俊一准教授たちのグループが成功)し、英科学誌ネイチャード・コミュニケーションズで18日発表した。水と油の両方にじむ「両親媒性分子」を直径10~100ナノメートル(ナノは10億分の1)を繊維状にまとめて性質を調べたところ、両

子を直接つけて特定方向に運搬できる「分子レール」を極細の繊維で作ることに、京都大学研究科の浜地格教授(池田将助教、堺大の田丸俊一准教授たちのグループが成功)

## 人工細胞の部品に期待



(教授提供)

(松尾浩道)

親媒性分子は「繊維」の中で川の水のように流れていた。2種類の両親媒性分子を使うと繊維表面上に「荷物」となる別の分

子を引っ掛ける突起があり、「荷物」の直径の40倍を超える距離の移動に成功した。電気を帯びた「荷物」に電場をかけると、運ぶ方向も制御できた。

従来の「分子レール」は分子を載せる車台が必要で、移動距離も限られていた。池田助教は「実際の細胞内でも、物質の運搬に微小管などのレール構造物が使われている。今回のレールはメカニズムは違うが、人工細胞の部品としても応用できるのではないか」と話している。

**石川議員  
再聴取「共謀**

資金管理団体「陸山谷」の收支報告書虚偽記入事件で、小沢一郎民主党幹事長を「起訴相当」とした検察審査会の議決を受け、東京地検特捜部は17日、元私設秘書の衆院議員石川知裕被告(36)を政治資金規正法違反の罪で起訴を任意で事情聴取した。石川はメカニズムは違うが、人工細胞の部品としても応用できるのではないか」と話している。

赤く光らせた部分が「荷物」として繊維に結合させた分子。川のように流れている(浜地格京都大)

佐川急便元社員詐欺疑い再逮捕元店長ら2人も逮捕下請け業者に業務を約40取った150発注し川急便